

令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立東加平小学校 校長 田中岳晴

1 学校教育目標

- ① 明るい子：自分に自信をもち、自分を、友だちを大切にできる子
- ② 強い子：あきらめない強い心とやり遂げる体力のある子
- ③ 考える子：めあてをもち、意欲的に学習する子

2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

- ① 学校図書館に親しみ、読書を楽しむことを通して豊かな人間性を育てる。
- ② 学校図書館を活用し、学習や生活に生かそうとする主体的な力を育てる。
- ③ 意欲的に多くの本を読もうとする態度を育てる。
- ④ 必要な情報を選択し、活用する力を育てる。
- ⑤ 読書生活の基本的な習慣を養い、生涯読書につなぐ力を育てる。

3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 11,908 冊（蔵書基準冊数 10,360 冊）／ 蔵書率 114.9%（元年度末 115.0%）									
	② 新規購入図書 554 冊／廃棄図書 1,401 冊 ／ 増減冊数 -847 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.8%	0.6%	7.6%	5.6%	11.9%	4.7%	2.3%	5.7%	4.6%	55%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、図書支援員勤務日の中休み・昼休み・放課後、毎日の昼休み									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 29.42 冊（前々年度末：26.74 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 75%（前々年度末：73%）									

（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 12,126 冊（蔵書基準冊数 10,560 冊）／ 蔵書率 114.8%									
	② 新規購入図書 658 冊 ／ 廃棄図書 446 冊 ／ 増減冊数 212 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.0%	0.6%	7.9%	6.0%	12.6%	4.9%	2.4%	6.0%	4.6%	52.6%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、図書支援員勤務日の中休み・昼休み・放課後、毎日の昼休み （前年度からの変更 なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 20,012 冊（前年度末：34.8 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 69%（前年度末：75%）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 学校図書館に親しみ、借り方や扱い方を知り、正しく利用する態度を育てる。 ② 興味がある本を手に取り、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。
------	--

今年度の成果目標	達成基準
① 学校図書館を使う授業を月に2回以上行うことにより、本を手取る機会を増やすことができる。	① 各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。
② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねることができる。	② 年間一人あたり50冊以上の本を読む。
③ 学校図書館に親しみ、借り方や扱い方を知り、正しく利用することができる。	③ 学校図書館支援員を活用した学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%

目標達成状況

- ①各クラス月2回以上、学校図書館で読書や国語科、生活科の探究活動を行うことができた。
- ②読書月間では、66%の児童が目標冊数である15冊を達成できた。年間一人あたり50冊以上を読む児童は、71%になり、半数以上の児童に読書習慣が身に付いたと感じている。
- ③4月に学校図書館支援員による学校図書館オリエンテーションを実施でき、年度当初に学校図書館の利用方法を知り、利用の仕方を守りながら正しく扱うことができた。

第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って正しく扱う態度を育てる。 ② 様々な分類の読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる
-------------	--

今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ① 自分の興味のある本、友達や図書委員会、学校図書館支援員などが紹介した本を探して、読書することができる。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ね、図鑑や科学的な読み物など、読書の幅を広げることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、正しく扱うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館支援員を活用した学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%

目標達成状況

- ①各クラス月2回以上、学校図書館で読書や国語科、生活科の探究活動を行うことができた。
- ②読書月間では、78%の児童が目標冊数である15冊を達成できたが、年間50冊以上の本を読んだ児童は、67%に留まった。記録への記入が習慣化されず、読書をしているが記録に残していない児童も多かった。
- ③4月に学校図書館支援員による学校図書館オリエンテーションを実施でき、年度当初に学校図書館の利用方法を知り、利用の仕方を守りながら正しく扱うことができた。

第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ① きまりを守り、学校図書館の利用に慣れ、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。 ② 様々な分類の読み物に興味をもち、読書しようとする態度を育てる。
-------------	--

今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ① 自分の興味のある本だけでなく、それに関連する本についても読書することができる。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ね、辞典や図鑑等の使い方を知り、使うことができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書や探究活動を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館支援員を活用した学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%

目標達成状況

- ①全クラスにおいて、月2回以上の読書活動を学校図書館で行うことができた。国語の物語文と同じ著者の本を探す児童も多く、学習を生かして読書の幅を広げている。
- ②読書月間では、58%の児童が目標ページである800ページを達成できた。年間一人あたり50冊以上を読む児童は、22%に留まり、あまり達成できなかった。
- ③4月に学校図書館支援員による学校図書館オリエンテーションを実施でき、年度当初に学校図書館の利用方法を知り、国語や総合的な学習で探究活動を円滑に行うことができた。

第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ① きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、資料や情報を収集・活用する力を育てる。 ② 様々な分類の読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ① 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ね、今まで興味なかった本についても読書することができる。 ② 辞典や図鑑等の使い方をしり、情報を収集して探究活動を進めることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、すすんで読書や探究活動を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ② 学校図書館資料等を活用して、年間10回以上探究を中心とした学習活動を行う。 ③ 学校図書館支援員を活用した学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%

目標達成状況

- ①読書月間では、75%の児童が目標ページである800ページを達成できた。年間一人あたり50冊以上を読む児童は、24%に留まり、あまり達成できなかった。
- ②インターネットでの情報、資料収集をする機会が増えたため、学校図書館資料を活用した探究活動は年7回に留まり、10回以上を達成できなかった。
- ③4月に学校図書館支援員による学校図書館オリエンテーションを実施でき、年度当初に学校図書館の利用方法を知ること、すすんで読書をしたり、探求活動に役立てたりすることができた。

第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ① 問題解決に向け、情報を収集し、調べたことをまとめる力を育てる。 ② 適切な読み物を選んで読み、自分の考えを広めたり深めたりする態度を育てる。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ① 読書をする経験を重ね、興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞、辞書や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知り、適切な情報収集ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ② 学校図書館資料等を活用して、年間10回以上探究を中心とした学習活動を行う。 ③ 学校図書館支援員を活用した学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%

目標達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ①読書月間では、78%の児童が目標ページである1000ページを達成できた。年間一人あたり50冊以上を読む児童は、13%に留まり、あまり達成できなかった。 ②国語科や総合的な学習において、年間10回以上探究活動を行うことができた。新聞やパンフレットなどの図書資料が少なかったため、あまり活用できなかった。 ③4月に学校図書館支援員による学校図書館オリエンテーションを実施でき、年度当初に学校図書館の利用方法を知ること、探求活動の際に適切な情報収集が行っていた。

第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ① 問題解決に向け、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用し、まとめる力を育てる。 ② 適切な読み物を選んで読み、自分の考えを広めたり深めたりする態度を育てる。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ① 読書をする経験を重ね、興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞、辞書や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知り、適切な情報収集ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ② 学校図書館資料等を活用して、年間10回以上探究を中心とした学習活動を行う。 ③ 学校図書館支援員を活用した学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%

目標達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ①読書月間では、77%の児童が目標ページである1000ページを達成できた。年間一人あたり50冊以上を読む児童は、15%に留まり、様々な行事の準備や教育課程の学習を終えることを優先したため、読書時間の確保が難しく、あまり達成できなかった。 ②ICTの活用の推進に伴い、インターネットで情報収集を行うことが増えたため、学校図書資料を活用した探究活動を年間10回以上行うことができなかった。 ③4月に学校図書館支援員による学校図書館オリエンテーションを実施でき、年度当初に学校図書館の利用方法を知ること、活用の幅が広がった。

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
<p>【蔵書・配架等に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 蔵書構成割合の低い書籍を充実するように新規図書購入計画を作成し、6月までに選定する。 ② 寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業を10月中に完了させる。 ③ 前期までに除籍・廃棄図書の整理・整備を行い、新刊本の学校図書館へ入れる準備をし、除籍本を学級文庫へ移すことにより、充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①蔵書構成割合を考慮し、6月までに選定し、0類2類3類を増やした。 ②登録作業のみならず、配架も10月初旬に終わることができ、読書月間に間に合った。 ③前期に、除籍・廃棄図書の整理と整備が完了し、新刊本が追加で入った後期も引き続き、除籍処理を行い、学級文庫の充実を図れた。

<p>【学校図書館支援員との連携・協働】</p> <p>① 学校図書館支援員による学校図書館オリエンテーションを5月までに全クラス実施する。また、ブックトーク・読み聞かせ・関連図書の掲示などを行うことで本に興味をもてるようにする。</p> <p>② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について学校図書館支援員への積極的な相談や情報交換を行う。また、学校図書館資料を充実させるために、新聞やパンフレットなどの図書資料を蓄積させていく。</p> <p>③ 学校図書館支援員と連携しながら「学校図書館だより」を毎月発行し、本の紹介や図書室の使い方などを児童や家庭に周知する。学校図書館にも掲示して常に見えるようにする。</p>	<p>①全学級、5月までにオリエンテーションを実施することができ、読書活動の幅を広げたり、探究活動に最適な方法を学べたりした。また、ブックトークを実施したり、季節や学習に合わせた掲示や展示を毎月行ったりして関心の幅を広げた。</p> <p>②学習や児童に合わせたレファレンスを行い、情報を得ることができた。パンフレットを展示し、手に取りやすくした。</p> <p>③「学校図書館だより」を毎月発行することができ、学校図書館内、職員室廊下前、校長室に掲示した。教員のおすすめの本を学校だよりに掲載し、学校図書館に展示することで貸し出しへと繋がった。</p>
<p>【その他】</p> <p>① 学校図書館支援員と図書ボランティアによる季節の掲示、図書資料の収集・整理など学校図書館の環境整備を進める。</p> <p>② 図書委員会によるポスターの作成と掲示を行う。</p> <p>③ 1年を3つに分け、目標の中間報告をすることで、目標達成に向けた意欲付けを行う。</p> <p>③ 収集した図書資料を他の教科（特に国語部）と連携を取って活用方法を検討する。</p> <p>④ 団体貸出・電子図書を活用できる環境作りを行う。</p>	<p>①月に1～2回の季節に合わせた掲示を行うことができた。児童参加型の提示物もあり、児童が学校図書館に足を運ぶ機会が増え、明るい雰囲気や楽しい環境づくりをすることができた。</p> <p>②ポスターを作成し、学校図書館内、各学年の廊下掲示を行い、呼びかけも行った。</p> <p>③前期後期に分け、目標達成率を集計し、周知することで、教員や児童の意識付けを行った。</p> <p>④国語部と連携を図り、新聞の活用方法について検討し、新聞掲示棚を購入した。</p> <p>⑤校内研修で団体貸出の紹介を行った。</p>

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

年度当初の学校図書館オリエンテーションや図書館だより、蔵書や配架に関する学校図書館支援員と連携して行うことができた。そのため、探求活動の際に適切な情報収集が行うことができたり、児童が本を手にする機会を増やしたりすることができた。また、図書委員会でも新たな取り組みを行うことで図書館利用を増やして行けた。

一方、全学年年間50冊という目標は、37%に留まったため、目標設定の見直しを図ったり、記録の方法を見直したりと改善を図っていききたい

図書館利用に関しては、一人一台のクロームブック配給により、調べる学習は図書館で行うことが少なくなった。新聞やリーフレットなど、図書と組み合わせる探究活動が行えるように、新聞やリーフレットなどの充実を図りたい。

団体貸出や電子図書の活用を活発に行えるように、積極的に活用していく。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

- ・今年度と同様に、各学年に対応した本の選書、掲示を行ってほしい。
- いつでも読める本は、学級文庫であるため、最新の本を図書館だけではなく、学級文庫にも入れてほしい。
- 読書の習慣は、学校だけではなく家庭との連携が必要なため、呼びかける機会があると良い。
- 学校図書館支援員さん、図書ボランティアの方々が図書館の整備を定期的に行って下さるので、子供たちが本を手に取りやすい環境になっている。
- 休み時間に図書館を利用している児童がいつも限られているので、朝読書、大休みや昼休みは各クラス順番に割り当てても良い。（教職員より）
- ・学校評価アンケートでは、「学校は、子供たちに目標をもたせ、日常の読書習慣が身に付くように、活発に指導を進めている。」という内容に対し、「よく当てはまる・当てはまる」の項目が80.3%と昨年度よりも3.8%増となった。（保護者より）
- ・読み聞かせを行うと、とても静かに落ち着いて聞いてくれる。（読み聞かせボランティアより）